

# 令和2年度 事業計画

## I 基本方針

我が国の65歳以上の高齢者人口は、令和元年9月の人口推計によると3,588万人となり、総人口に占める割合は28.4%と、過去最高を更新している状況です。

これは、蒲郡市の場合も同様の傾向にあり、令和2年1月現在の65歳以上の高齢者人口の割合は29.2%と前年同月比で0.2ポイントの増加をし、愛知県平均の25.0%を大きく上回る県内でも高齢化率の高い地域となっています。

一方、愛知県の有効求人倍率をみると、昨年12月末現在で1.82倍と依然高い状況であり、完全失業率は1.9%と低い水準が続いています。

このように、地域経済の担い手となる生産年齢人口の減少と好調な雇用環境を背景に、蒲郡市においても地域経済の活性化のために高齢者の労働力が求められており、シルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は大きく、特に労働力不足となっている宿泊、飲食、小売といったサービス業や介護、育児等現役世代を支える分野での就業促進が強く求められています。

当センターの令和元年度実績については、請負事業において前年比で若干の伸び悩みとなりましたが、反面、派遣事業は順調に拡大し、会員数も大幅に増加するなど、事業全体としては好調に推移することができました。

令和2年度も、シルバー人材センターの地域における存在意義を高め、積極的な事業運営を行うために、新しく女性の活躍の場を広げ、女性会員の増強を目的に「女性部会」の立ち上げを検討し、さらに会員みなさんが自ら進んでセンター主催の研修会やボランティア活動に参加してもらえるように「ポイント制度」を導入するなど、組織の活性化を図るとともに引き続き「会員の拡大」と「就業機会の拡大」を最重要課題として位置づけ、魅力ある地域高齢者の拠点として、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと地域社会の発展のために次の事業計画を策定し、シルバー事業を推進してまいります。

## II 事業計画

- (1) 就業機会の確保と組織的提供事業
- (2) 指定管理事業
- (3) 有料職業紹介事業
- (4) 労働者派遣事業
- (5) 知識及び技能の付与を目的とした講習の実施事業
- (6) 調査研究事業
- (7) 相談事業
- (8) 安全・適正就業推進事業
- (9) センターの活動等について周知を図る事業
- (10) その他センターの目的を達成するために必要な事業

### Ⅲ 活動計画

#### (1) 就業機会の確保と組織的提供事業

「就労意欲のある会員の就労支援」の理念の基に、地域社会に密着した仕事のニーズを把握・分析し、会員の就業ニーズとマッチングさせることにより、就業機会の拡大に向けた取り組みを行っていく。

- ① 会員の多様な就業ニーズや能力に応じた就業を確保するため、請負就業、派遣就業、職業紹介など、多様な働き方の提供と就業開拓を推進する
- ② 過去の発注先への訪問、電話等による就業機会の掘り起こしを行う
- ③ 会員の希望や能力に応じた就業情報の提供を行うため、ホームページや会報の充実を図るとともに、就業相談を随時行うことで就業機会の拡大を図る
- ④ 育児支援や高齢者に対する家事援助サービスなど、女性の活躍の場を広げる新規事業の検討や、女性会員同士の親睦、スキルアップのための各種講習会などを企画し、女性会員の入会促進と定着率アップを図るために「女性部会」の立ち上げを検討する

#### (2) 指定管理事業

市民の豊かな人づくりのための生涯学習の場であり、高齢者の方が就業活動や趣味の活動を通じて積極的に社会参加し、生きがいを持って生活していただくための場である「生きがいセンター」の指定管理者として、利用者の立場に立った管理運営に努め、人づくり・地域づくりの拠点としての役割を果たす。

- ① 館内ロビーイベントとして、季節の催しや、会員、利用者の作品の展示、学習発表の機会などを企画し、「生きがいセンター」をたくさんの人に利用して頂くことで、利用者ならびに地域のみなさんとの交流の機会を促進し、情報提供の発信拠点としての役割を果たす
- ② 恒例の「生きがいセンターまつり」を企画し、施設利用者と施設入居者であるオレンジホーム、あすなる教室、およびシルバー人材センターの会員、役員、職員の共同開催で、地域住民とのコミュニケーションを図り、地域づくりに貢献する
- ③ 施設利用者に対してアンケート調査を実施し、その結果に基づいて「生きがいセンター」の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるように努める

#### (3) 有料職業紹介事業

企業の求人情報と、会員の求職情報をマッチングさせ、直接雇用が適切であると判断される仕事については積極的に有料職業紹介によって対応する。

- ① 企業訪問、就業開拓、ハローワーク等関係機関との連携などにより、企業の求人情報を幅広く収集し、直接雇用を望む会員への情報提供を行うことで事業の拡大を図る
- ② 有料職業紹介事業は、対象となる求職者が会員のみならず地域の高齢者も含まれていることを周知するとともに、発注者ニーズと求職者のニーズに沿って適正かつ適切な職業紹介を推進する

#### (4) 労働者派遣事業

高齢化や労働力人口の減少が進行する中、多くの業種における人手不足分野や介護等の現役世代を支える分野において、シルバー人材センターがこれらの担い手として活躍することが期待されていることから、請負に馴染まない職種や職場などは「適正就業ガイドライン」を遵守し、労働者派遣事業への就業機会の拡大を図る

- ① 多様化する地域の人材ニーズと会員の就業ニーズとのマッチングを図るため、派遣先事業所の新規開拓を進めるとともに、シルバー派遣会員としての知識、スキルの向上を図るために、会員に対する研修、教育を充実させる
- ② センター職員ならびに発注者に対して「適正就業ガイドライン」の周知徹底を図ることで、就業の適正化を推進するとともに事業の拡大を図る

#### (5) 知識及び技能の付与を目的とした講習の実施事業

会員や地域の高齢者が、希望する業務に必要な知識や技能を意欲的に習得して就業の機会に繋げていくことを目的に、センター主催の講習会等を企画、実施し、会員の知識や技能のスキルアップを図るとともに、生きがいの充実や社会参加の促進を図る。

- ① 県シルバー連合会の主催する「高齢者活躍人材確保育成事業」を活用して、地域の高齢者や地元企業に対して継続的な技能講習を実施する
- ② 会員向け公開講座として、女性のための生涯学習講座、職種別技能研修、マナー接遇研修、安全就業研修などを継続的に実施することにより、会員のスキルアップ、生きがいの充実、社会参加の促進、福祉の増進を図る

#### (6) 調査研究事業

シルバー人材センターの事業発展に資するため、高齢者の就業に関する調査研究および相談事業を実施する。

- ① 県内外のシルバー人材センターにおける事業先進事例を研究し、新規事業への参入の検討、既存事業の質の向上を図る
- ② 未就業会員に対し、アンケート調査や就業相談会等を実施することで、未就業理由の分析と適切な対応策を検討し就業率の向上を図る

#### (7) 相談事業

地域住民、発注希望者等からの、シルバー人材センター事業全般に関する相談や一般市民からの入会希望の相談、既存会員の就労に関する相談などに適切に対応することで、センターの円滑な事業運営と活性化を図る。

- ① 入会を希望する高齢者を対象に、毎月定期的に入会説明会を開くとともに女性限定、地域限定など、対象者を絞り込んだ説明会を開催する
- ② 既存会員の雇用・就業等に伴う問題について、専門知識を持った担当者による相談会を定期的で開催し、就業に係る悩みごとへの傾聴や就業機会の提供等を行うことにより、会員の社会参加、社会貢献の拡大、生きがいの充実を図る
- ③ 発注希望者からの相談については、ホームページの充実、チラシやパンフレットなどの広告媒体の配布、既存利用者の口コミなどを活用し、事業内容の詳細をお知らせすることで就業機会の拡大を図る

(8) 安全・適正就業推進事業

シルバー人材センター事業の実施にあたっては、会員の安全かつ適正な就業が重要な課題であり、安全意識の向上、作業中の事故防止、就業途中の交通事故防止などの啓発を図るとともに、就業形態の適正化のための各種事業を行う。

- ① 安全・適正就業意識の普及啓発のため、理事会専門部会の「安全対策部会」において安全就業講習会や安全標語の募集キャンペーンを企画する
- ② 安全就業パトロールを実施し、剪定作業での転落事故防止、草刈り作業での飛び石事故防止、派遣就労での危険作業防止のための注意喚起を行う
- ③ 会員および就業先企業などに対して「適正就業ガイドライン」の正しい理解と協力を求めるため、啓発活動を積極的に行い、周知徹底と就業の適正化を図る

(9) センターの活動等について周知を図る事業

シルバー人材センター事業の理念、活動を地域住民ならびに関係者に広く周知し、シルバー事業への理解と協力、会員の増強を図るため、積極的な普及啓発を行う。

- ① センター事業を広く周知するために、地域住民との交流の場となる「生きがいセンターまつり」の実施や、生きがいセンターのロビーイベントを開催するなど積極的にシルバー人材センターの活動をPRする
- ② ホームページの充実や、地域イベントの「ごりやく市」への出店、ボランティア活動の実施などにより、センター事業の内容を広く情報発信するとともに、会員に向けては年2回発行の「いきいきだより」や毎月発行の「事務局だより」によりセンターの活動状況を報告し、シルバー事業への理解を深めてもらう
- ③ センターが実施する各種講習、イベント、ボランティアなどに、会員自らが積極的に参加することで、シルバー事業の目的である 生きがいの充実、社会参加、社会貢献を实践してもらえるように、新たに「ポイント制度」を導入し、組織の活性化を図る

(10) その他センターの目的を達成するために必要な事業

高齢者の社会貢献活動を通じた健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上と活性化に貢献していくために次の事業を行う

- ① 蒲郡市からの委託事業である「高齢者介護支援ボランティア事業」を積極的に推進し、会員の知識と能力の向上ならびにボランティア活動の多様化を図る
- ② 「高齢者介護支援ボランティア事業」の拡大を図るために、地域の高齢者を対象にボランティア支援のための知識習得講座を実施する